

令和7年度 評価規準

江戸川区立西葛西中学校

教科	音楽	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現領域(歌唱) ○ガイダンス・校歌 ○日本の歌 ○国歌	4	曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌う。	・言葉の発音と音域に応じた発声との関わりについて理解している。 ・全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(言葉の発音と音域に応じた発声との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(歌唱・合唱) ○混声合唱曲 ○クラス合唱曲	10	曲想を味わいながら合わせて歌う。	・曲想と楽曲の構造との関わりについて理解している。 ・他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(器楽) ○弦楽器 ○日本の伝統楽器	7	弦楽器(撥弦楽器)の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫する。	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するための身体の使い方やストローク奏法などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(身体の使い方やストローク奏法など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(創作) ○楽曲創作(音楽制作アプリ・他) ○楽典・著作権	7	オリジナルの音楽をつくる。	・旋律の反復とその効果などから構成上の特徴を理解している。 ・課題に沿った音や旋律の組み合わせを選択する技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(旋律の反復とその効果などから構成上の特徴)や技能(課題に沿った音や旋律の組み合わせを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
鑑賞領域 ○交響詩について ○総合芸術(日本・西洋) ○オーケストラの音楽	7	多様な音楽表現を味わって鑑賞する	様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	鑑賞に関わる知識(交響詩及び歌舞伎やオペラの音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。